成蹊大学大学院理工学研究科規則

制　　定　2009年 3 月27日
学 園 理 事 会
最新改正　2025年 1 月17日
常 務 理 事 会

（趣旨）

第１条　この規則は、成蹊大学大学院学則（以下「学則」という。）に基づき、理工学研究科（以下「本研究科」という。）における学則実施上の必要な事項を定める。

（本研究科における教育研究上の目的）

第２条　本研究科の理工学専攻における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

（１）博士前期課程　　理工学の分野において、創造性豊かな優れた研究活動を行っていくための広い視野と深い知識の修得及び研究能力の涵養により、高度な専門知識をもって社会に貢献できる技術者又は将来の研究者を養成することを目的とする。

（２）博士後期課程　　理工学の分野において、高い倫理観と創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者を養成することを目的とする。

（理工学専攻におけるコースの設置及び各コースの目的）

第３条　理工学専攻に、次に掲げるコースを置き、各コースの目的については、当該各号に掲げるとおりとする。

（１）博士前期課程

ア　物質生命コース

物質・ナノサイエンス、化学・ライフサイエンス、環境・エネルギー各分野の基礎知識と基礎技術を幅広く修得し、新たな科学技術の創造に挑む技術者を養成すること又は研究者の素養を涵養することを目的とする。

イ　情報科学コース

システムソフトウェア・ネットワーク分野、メディア技術分野、さらには情報数理分野を含む多様な情報科学の分野において、幅広い知識の修得と高度な研究手法の獲得により革新的科学技術の創造に挑む先導的な情報関連技術者を養成すること又は研究者の素養を涵養することを目的とする。

ウ　システムデザインコース

機械工学・電気電子工学・経営工学を融合したものづくり技術の分野において、創造性豊かな優れた研究・開発を行っていくための深い知識の修得及び研究・開発能力の涵養により、高度な専門知識と高い倫理観をもって社会に貢献できる技術者又は研究者を養成することを目的とする。

（２）博士後期課程

ア　物質生命コース

物質・ナノサイエンス、化学・ライフサイエンス、環境・エネルギー分野において、多元的な視点をもって革新的科学技術の創造に挑む研究者を養成することを目的とする。

イ　情報科学コース

システムソフトウェア・ネットワーク分野、メディア技術分野、さらには情報数理分野を含む多様な情報科学の分野において、多元的な視点で先導的な立場に立ち、高い倫理観を持つ発想豊かな研究者を養成することを目的とする。

ウ　システムデザインコース

機械工学・電気電子工学・経営工学を融合したものづくり技術の分野において、創造性豊かな優れた研究・開発を行っていくための深い知識の修得及び研究・開発能力の涵養により、高度な専門知識と高い倫理観をもって社会に貢献できる研究者を養成することを目的とする。

（教育課程及び研究指導）

第４条　前２条に掲げる目的を達成するために必要な本研究科の授業科目及び単位数並びに必修・選択の区分は、別表第１に定めるとおりとする。

２　本研究科における授業科目の履修の方法及び学位論文の作成に対する指導（以下「研究指導」という。）の計画については、別に定める。

（他大学院等における履修及び修得単位）

第５条　研究科長が教育研究上有益であると認めるときは、学生は、他研究科又は他大学の大学院（外国の大学の大学院を含む。）の授業科目を履修することができる。

２　前項の規定により修得した単位は、第14条又は第15条第１項に規定する修了に必要な修得単位数のうち選択科目の単位として、10単位以内に限り本研究科において修得したものとみなすことができる。

（入学前の既修得単位の認定）

第６条　研究科長が教育研究上有益であると認めるときは、学生が本研究科に入学する前に大学院（外国の大学の大学院を含む。）において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本研究科において修得したものとみなすことができる。

２　前項の規定により修得したものとみなすことができる単位数は、転入学及び再入学の場合を除き、本研究科において修得した単位以外のものについては、10単位以内に限り、第14条又は第15条第１項に規定する修了に必要な修得単位数のうち、選択科目の単位として算入することができる。

（指導教授）

第７条　研究科長は、博士前期課程及び博士後期課程に入学した学生の指導教授（主担当指導教授及び副担当指導教授をいう。以下同じ。）を定めるものとする。

２　指導教授は、学則第９条第２項の規定に基づき、指導する学生の研究指導計画を策定し、研究科長の承認を得るものとする。

（履修計画）

第８条　学生は、前条第２項の研究指導計画に基づき、別表に定める授業科目を計画的かつ体系的に履修しなければならない。

２　学生は、授業科目の履修に当たり、学期の始めにおいて所定の様式により申請しなければならない。

３　学生は、現に在籍する年次の上位年次に配当されている授業科目及び既に単位を修得した授業科目を履修することができない。ただし、研究科長が教育上必要と認めるものについては、この限りでない。

（単位の認定）

第９条　単位修得の認定は、筆記試験若しくは口述試験又は研究報告等により、当該科目担当教員が行う。

（単位の認定の時期）

第１０条　前条に規定する単位の認定は、授業科目の履修が終了する学年又は学期の末において行う。ただし、研究科長が特別の事情があると認めるときは、期日を変更することができる。

（転学者の単位の認定）

第１１条　他大学の大学院から転入学した学生が当該大学院で修得した単位は、別に定める基準により、第14条又は第15条第１項に規定する修了に必要な修得単位数のうち、選択科目の単位として認定することができる。

（単位認定科目の成績評価）

第１２条　第５条、第６条及び前条の規定により認定する授業科目の成績評価は、学則第11条の２の規定により、Ｔと表示する。ただし、研究科長が特に必要と認めるときは、この限りでない。

（学位論文等の提出）

第１３条　学位論文の成果は、指導教授の承認を得て、所定の期日までに提出しなければならない。

２　所属専攻の授業科目について20単位以上を修得した者でなければ、修士論文の成果を提出することができない。

（博士前期課程の修了要件）

第１４条　博士前期課程の修了要件は、博士前期課程に２年以上在学し、別表第２に定める修了に必要な修得単位数を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の成果の審査及び最終試験に合格することとする。

（博士前期課程の早期修了）

第１４条の２　前条の規定にかかわらず、博士前期課程において所定の単位を修得し、学業成績及び修士論文が特に優れていると認められる者については、学則第13条第１項ただし書の規定により、１年の在学期間をもって早期に修了することができる。

２　前項に規定する修了に関し必要な事項は、別に定める。

（博士後期課程の修了要件）

第１５条　博士後期課程の修了要件は、博士後期課程に３年以上在学し、別表第３に定める修了に必要な修得単位数を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

２　前項の場合において、研究科長が教育研究上有益であると認めるときは、博士後期課程の学生が博士前期課程において当該課程の修了に要する単位を超えて修得した単位を、10単位以内に限り前項に規定する単位として算入することができる。

（組織的な研修及び研究を行うための委員会）

第１６条　本研究科に、学則第８条の２の規定に基づき、授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図ることを目的として組織的な研修及び研究を行うための委員会を置く。

２　前項に規定する委員会に関し必要な事項は、別に定める。

附　則（略）

別表第１（第４条関係）

１　博士前期課程

科目区分		授業科目	配当年次	単位数	
				必 修	選 択
専攻共通選択科目		表現技術特論	１・２		２
		エンジニアリングデザイン	１・２		２
		超高層大気物理学	１・２		２
		地球環境変動論	１・２		２
		資源科学基礎論	１・２		２
		画像センシング特論	１・２		２
		データ解析特論	１・２		２
		発展インターンシップ実習	１・２		２
		発展インターンシップ準備講座	１・２		２
	学際分野	学際分野特殊研究	１・２		２

科目区分			授業科目	配当年次	単位数	
					必 修	選 択
物質生命コース	選択科目	物質・ナノサイエンス分野	非線形現象特論Ⅰ	1・2		2
			非線形現象特論Ⅱ	1・2		2
			ナノ物性特論Ⅰ	1・2		2
			ナノ物性特論Ⅱ	1・2		2
			薄膜物性特論Ⅰ	1・2		2
			薄膜物性特論Ⅱ	1・2		2
			多次元システム特論Ⅰ	1・2		2
			多次元システム特論Ⅱ	1・2		2
			計測データ解析特論Ⅰ	1・2		2
			計測データ解析特論Ⅱ	1・2		2
			量子力学特論Ⅰ	1・2		2
			量子力学特論Ⅱ	1・2		2
			物質・ナノサイエンス特論	1・2		2
			光エレクトロニクス特論	1・2		2
			表面物性特論	1・2		2
			化学計測特論	1・2		2
		化学・ライフサイエンス分野	有機化学特論Ⅰ	1・2		2
			有機化学特論Ⅱ	1・2		2
			無機化学特論Ⅰ	1・2		2
			無機化学特論Ⅱ	1・2		2
			天然物応用化学特論	1・2		2
			生体分子化学特論Ⅰ	1・2		2
			生体分子化学特論Ⅱ	1・2		2
			生物化学特論Ⅰ	1・2		2
			生物化学特論Ⅱ	1・2		2
			物理有機化学特論	1・2		2
			物性化学特論	1・2		2
			化学・ライフサイエンス特論	1・2		2
		環境・エネルギー分野	プロセスシステム特論Ⅰ	1・2		2
			プロセスシステム特論Ⅱ	1・2		2
			環境材料特論Ⅰ	1・2		2
			環境材料特論Ⅱ	1・2		2
			環境工学特論Ⅰ	1・2		2
			環境工学特論Ⅱ	1・2		2
			生体環境電気工学特論Ⅰ	1・2		2
			生体環境電気工学特論Ⅱ	1・2		2
			環境化学工学特論	1・2		2
			電気化学特論Ⅰ	1・2		2
			電気化学特論Ⅱ	1・2		2

科目区分		授業科目	配当年次	単位数	
				必 修	選 択
物質生命コース	必修科目	物質生命特別演習Ⅰa	1	2	
		物質生命特別演習Ⅰb	1	2	
		物質生命特別演習Ⅱa	2	2	
		物質生命特別演習Ⅱb	2	2	
		物質生命特別実験Ⅰa	1	1	
		物質生命特別実験Ⅰb	1	1	
		物質生命特別実験Ⅱa	2	1	
		物質生命特別実験Ⅱb	2	1	

科目区分			授業科目	配当年次	単位数	
					必 修	選 択
情報科学コース	選択科目	システムソフトウェア・ネットワーク分野	コンピュータシステム特論Ⅰ	１・２		２
			コンピュータシステム特論Ⅱ	１・２		２
			ソフトウェア特論Ⅰ	１・２		２
			ソフトウェア特論Ⅱ	１・２		２
			プログラム理論特論Ⅰ	１・２		２
			プログラム理論特論Ⅱ	１・２		２
			通信工学特論Ⅰ	１・２		２
			通信工学特論Ⅱ	１・２		２
			情報通信ネットワーク特論Ⅰ	１・２		２
			情報通信ネットワーク特論Ⅱ	１・２		２
			ユビキタス工学特論	１・２		２
			データベース特論	１・２		２
		メディア技術分野	映像通信特論Ⅰ	１・２		２
			映像通信特論Ⅱ	１・２		２
			知的インタフェース特論Ⅰ	１・２		２
			知的インタフェース特論Ⅱ	１・２		２
			イメージメディア特論Ⅰ	１・２		２
			イメージメディア特論Ⅱ	１・２		２
			自然言語処理特論Ⅰ	１・２		２
			自然言語処理特論Ⅱ	１・２		２
			音声情報特論Ⅰ	１・２		２
			音声情報特論Ⅱ	１・２		２
		情報数理分野	統計学特論Ⅰ	１・２		２
			統計学特論Ⅱ	１・２		２
			最適化特論Ⅰ	１・２		２
			最適化特論Ⅱ	１・２		２
			アルゴリズム特論Ⅰ	１・２		２
			アルゴリズム特論Ⅱ	１・２		２
			コンピュテーション特論Ⅰ	１・２		２
			コンピュテーション特論Ⅱ	１・２		２
			数値計算特論	１・２		２
			オペレーションズリサーチ特論Ⅰ	１・２		２
			オペレーションズリサーチ特論Ⅱ	１・２		２
			システム分析特論	１・２		２
			知能情報特論Ⅰ	１・２		２
			知能情報特論Ⅱ	１・２		２
			パターン認識特論Ⅰ	１・２		２
			パターン認識特論Ⅱ	１・２		２

科目区分		授業科目	配当年次	単位数	
				必 修	選 択
情報科学コース	必修科目	情報科学特別演習Ⅰa	1	2	
		情報科学特別演習Ⅰb	1	2	
		情報科学特別演習Ⅱa	2	2	
		情報科学特別演習Ⅱb	2	2	
		情報科学特別実験Ⅰa	1	1	
		情報科学特別実験Ⅰb	1	1	
		情報科学特別実験Ⅱa	2	1	
		情報科学特別実験Ⅱb	2	1	

科目区分			授業科目	配当年次	単位数	
					必 修	選 択
システムデザインコース	選択科目	電気・電子分野	電力・エネルギー特論Ⅰ	1・2		2
			電力・エネルギー特論Ⅱ	1・2		2
			プラズマエネルギーデザイン特論Ⅰ	1・2		2
			プラズマエネルギーデザイン特論Ⅱ	1・2		2
			電子デバイス特論Ⅰ	1・2		2
			電子デバイス特論Ⅱ	1・2		2
			電力系統工学特論	1・2		2
			表面物性特論	1・2		2
		機械設計分野	振動音響学特論Ⅰ	1・2		2
			振動音響学特論Ⅱ	1・2		2
			計算力学特論Ⅰ	1・2		2
			計算力学特論Ⅱ	1・2		2
			流体力学特論Ⅰ	1・2		2
			流体力学特論Ⅱ	1・2		2
			材料学特論Ⅰ	1・2		2
			材料学特論Ⅱ	1・2		2
			伝熱工学特論Ⅰ	1・2		2
			伝熱工学特論Ⅱ	1・2		2
			材料力学特論	1・2		2
			熱工学特論	1・2		2
			心理音響工学特論	1・2		2
			機械設計法特論	1・2		2
		ロボット・メカトロニクス分野	ロボット工学特論Ⅰ	1・2		2
			ロボット工学特論Ⅱ	1・2		2
			生体医工学特論Ⅰ	1・2		2
			生体医工学特論Ⅱ	1・2		2
			情報メカトロニクス特論Ⅰ	1・2		2
			情報メカトロニクス特論Ⅱ	1・2		2
			モータドライブ特論Ⅰ	1・2		2
			モータドライブ特論Ⅱ	1・2		2
		生産技術・人間工学・経営工学分野	知能システム特論Ⅰ	1・2		2
			知能システム特論Ⅱ	1・2		2
			工作機械特論	1・2		2
			人間工学特論Ⅰ	1・2		2
			人間工学特論Ⅱ	1・2		2
			経営工学特論Ⅰ	1・2		2
			経営工学特論Ⅱ	1・2		2
			ヒューマンファクターズ特論Ⅰ	1・2		2
			ヒューマンファクターズ特論Ⅱ	1・2		2
			生産システム特論Ⅰ	1・2		2
			生産システム特論Ⅱ	1・2		2
			福祉工学特論	1・2		2
			ユーザビリティ工学特論	1・2		2

科目区分			授業科目	配当年次	単位数	
					必 修	選 択
システムデザインコース	選択科目	分野共通	システムデザイン特論Ⅰ	１・２		２
			システムデザイン特論Ⅱ	１・２		２
			応用数学特論Ⅰ	１・２		２
			応用数学特論Ⅱ	１・２		２
	必修科目		システムデザイン特別演習Ⅰa	１	２	
			システムデザイン特別演習Ⅰb	１	２	
			システムデザイン特別演習Ⅱa	２	２	
			システムデザイン特別演習Ⅱb	２	２	
			システムデザイン特別実験Ⅰa	１	１	
			システムデザイン特別実験Ⅰb	１	１	
			システムデザイン特別実験Ⅱa	２	１	
			システムデザイン特別実験Ⅱb	２	１	

（注）学際分野特殊研究は、８単位まで博士前期課程の修了に必要な修得単位数に算入することができる。

2　博士後期課程

科目区分			授業科目	配当年次	単位数	
					必 修	選 択
物質生命コース	選択科目	物質・ナノサイエンス分野	非線形現象特論Ⅲ	１・２・３		2
			非線形現象特論Ⅳ	１・２・３		2
			ナノ物性特論Ⅲ	１・２・３		2
			ナノ物性特論Ⅳ	１・２・３		2
			薄膜物性特論Ⅲ	１・２・３		2
			薄膜物性特論Ⅳ	１・２・３		2
			多次元システム特論Ⅲ	１・２・３		2
			多次元システム特論Ⅳ	１・２・３		2
			計測データ解析特論Ⅲ	１・２・３		2
			計測データ解析特論Ⅳ	１・２・３		2
		化学・ライフサイエンス分野	有機化学特論Ⅲ	１・２・３		2
			有機化学特論Ⅳ	１・２・３		2
			無機化学特論Ⅲ	１・２・３		2
			無機化学特論Ⅳ	１・２・３		2
			生体分子化学特論Ⅲ	１・２・３		2
			生体分子化学特論Ⅳ	１・２・３		2
			生物化学特論Ⅲ	１・２・３		2
			生物化学特論Ⅳ	１・２・３		2
		環境・エネルギー分野	環境材料特論Ⅲ	１・２・３		2
			環境材料特論Ⅳ	１・２・３		2
			環境工学特論Ⅲ	１・２・３		2
			環境工学特論Ⅳ	１・２・３		2
			生体環境電気工学特論Ⅲ	１・２・３		2
			生体環境電気工学特論Ⅳ	１・２・３		2
	必修科目		物質生命特別演習Ⅲa	1	2	
			物質生命特別演習Ⅲb	1	2	
			物質生命特別演習Ⅳa	2	2	
			物質生命特別演習Ⅳb	2	2	
			物質生命特別実験Ⅲa	1	1	
			物質生命特別実験Ⅲb	1	1	
			物質生命特別実験Ⅳa	2	1	
			物質生命特別実験Ⅳb	2	1	

科目区分			授業科目	配当年次	単位数	
					必 修	選 択
情報科学コース	選択科目	システムソフトウェア・ネットワーク分野	コンピュータシステム特論Ⅲ	１・２・３		2
			コンピュータシステム特論Ⅳ	１・２・３		2
			ソフトウェア特論Ⅲ	１・２・３		2
			ソフトウェア特論Ⅳ	１・２・３		2
			プログラム理論特論Ⅲ	１・２・３		2
			プログラム理論特論Ⅳ	１・２・３		2
			通信工学特論Ⅲ	１・２・３		2
			通信工学特論Ⅳ	１・２・３		2
			情報通信ネットワーク特論Ⅲ	１・２・３		2
			情報通信ネットワーク特論Ⅳ	１・２・３		2
		メディア技術分野	映像通信特論Ⅲ	１・２・３		2
			映像通信特論Ⅳ	１・２・３		2
			知的インタフェース特論Ⅲ	１・２・３		2
			知的インタフェース特論Ⅳ	１・２・３		2
			イメージメディア特論Ⅲ	１・２・３		2
			イメージメディア特論Ⅳ	１・２・３		2
			自然言語処理特論Ⅲ	１・２・３		2
			自然言語処理特論Ⅳ	１・２・３		2
			音声情報特論Ⅲ	１・２・３		2
			音声情報特論Ⅳ	１・２・３		2
		情報数理分野	最適化特論Ⅲ	１・２・３		2
			最適化特論Ⅳ	１・２・３		2
			アルゴリズム特論Ⅲ	１・２・３		2
			アルゴリズム特論Ⅳ	１・２・３		2
			コンピュテーション特論Ⅲ	１・２・３		2
			コンピュテーション特論Ⅳ	１・２・３		2
			オペレーションズリサーチ特論Ⅲ	１・２・３		2
			オペレーションズリサーチ特論Ⅳ	１・２・３		2
			統計学特論Ⅲ	１・２・３		2
			統計学特論Ⅳ	１・２・３		2
			パターン認識特論Ⅲ	１・２・３		2
			パターン認識特論Ⅳ	１・２・３		2
			知能情報特論Ⅲ	１・２・３		2
			知能情報特論Ⅳ	１・２・３		2
	必修科目		情報科学特別演習Ⅲa	1	2	
			情報科学特別演習Ⅲb	1	2	
			情報科学特別演習Ⅳa	2	2	
			情報科学特別演習Ⅳb	2	2	
			情報科学特別実験Ⅲa	1	1	
			情報科学特別実験Ⅲb	1	1	
			情報科学特別実験Ⅳa	2	1	
			情報科学特別実験Ⅳb	2	1	

科目区分			授業科目	配当年次	単位数	
					必 修	選 択
システムデザインコース	選択科目	電気･電子分野	電力・エネルギー特論Ⅲ	１・２・３		2
			電力・エネルギー特論Ⅳ	１・２・３		2
			プラズマエネルギーデザイン特論Ⅲ	１・２・３		2
			プラズマエネルギーデザイン特論Ⅳ	１・２・３		2
			電子デバイス特論Ⅲ	１・２・３		2
			電子デバイス特論Ⅳ	１・２・３		2
		機械設計分野	振動音響学特論Ⅲ	１・２・３		2
			振動音響学特論Ⅳ	１・２・３		2
			計算力学特論Ⅲ	１・２・３		2
			計算力学特論Ⅳ	１・２・３		2
			流体力学特論Ⅲ	１・２・３		2
			流体力学特論Ⅳ	１・２・３		2
			材料学特論Ⅲ	１・２・３		2
			材料学特論Ⅳ	１・２・３		2
		ロボット・メカトロニクス分野	知能システム特論Ⅲ	１・２・３		2
			知能システム特論Ⅳ	１・２・３		2
			ロボット工学特論Ⅲ	１・２・３		2
			ロボット工学特論Ⅳ	１・２・３		2
			応用メカトロニクス特論	１・２・３		2
			制御システム特論	１・２・３		2
		生産技術・人間工学・経営工学分野	経営工学特論Ⅲ	１・２・３		2
			経営工学特論Ⅳ	１・２・３		2
	必修科目		システムデザイン特別演習Ⅲa	1	2	
			システムデザイン特別演習Ⅲb	1	2	
			システムデザイン特別演習Ⅳa	2	2	
			システムデザイン特別演習Ⅳb	2	2	
			システムデザイン特別実験Ⅲa	1	1	
			システムデザイン特別実験Ⅲb	1	1	
			システムデザイン特別実験Ⅳa	2	1	
			システムデザイン特別実験Ⅳb	2	1	

別表第２　博士前期課程の修了に必要な修得単位数（第14条関係）

科目区分	修了に必要な修得単位数
必修科目	１２
専攻共通選択科目	６
選択科目	１２
合計	３０

（注１）必修科目は、所属するコースに配当された科目で修了に必要な修得単位数を全て満たすこと。
（注２）専攻共通選択科目の修得単位数が６単位を超えた場合は、その超過単位数のうち４単位まで選択科目の修了に必要な修得単位数に算入する。
（注３）専攻共通選択科目のうち、「発展インターンシップ準備講座」は、修了に必要な修得単位数に含めない。

別表第３　博士後期課程の修了に必要な修得単位数（第15条関係）

科目区分	修了に必要な修得単位数
必修科目	１２
選択科目	８
合計	２０

（注）必修科目は、所属するコースに配当された科目で修了に必要な修得単位数を全て満たすこと。